

高円宮杯 JFA U-18サッカーリーグ2022 三重県 大会要項

1 主旨

三重県のユース年代において、長期にわたるリーグを通して、選手の育成及び指導者のレベルアップを目指す。

2 名称

高円宮杯 JFA U-18サッカーリーグ2022 三重県(1部2部3部4部)

3 主催

一般社団法人三重県サッカー協会

4 主管

一般社団法人三重県サッカー協会2種委員会、各リーグ実行委員会

5 大会期間

【1部リーグ】 2022年 4月～12月

【2部リーグ】 2022年 4月～12月

【3部リーグ】 2022年 4月～10月

【4部リーグ】 2022年 6月～10月

【チャンピオンシップ】 チャンピオンシップは、1部、2部リーグの終了時期に関係なく3部、4部リーグが終了次第早い段階で行う。

※日程については、各リーグの実行委員会において調整可能とする。

6 大会会場

四日市市中央フットボール場、松阪市総合運動公園、伊勢フットボールヴィレッジ、県内高校グラウンド他

7 大会参加資格

(1)(公財)日本サッカー協会2種に加盟されているチームであること。

(2)常時引率責任者がいること。

(3)4級以上の審判員がいること(または4級以上の審判員を用意できること)

8 複数(2nd、3rd、4th)チームの参加条件

(1)2ndまたは3rdまたは4thチームに常時、引率責任者がいること。

(2)各リーグの試合が重なった状態であっても審判ができること。

(3)会場確保等に対応できること。

9 大会方式

【1部リーグ】 ①10チームによる2回戦総当りのリーグとする。

【2部リーグ】 ①10チームによる2回戦総当りのリーグとする。

【3部リーグ】 ①1ブロック14チームによる並列2ブロックのリーグ戦を行う。

※リーグ編成は第1回実行委員会で決定

②名称は3部A・3部Bとする。

③14チームによる1回戦総当りのリーグとする。

④1位と2位の計4チームによるチャンピオンシップを行う。

【4部リーグ】 ①30チーム以下の場合、並列3ブロック制のリーグ戦を、
31チーム以上48チーム以下の場合、並列4ブロック制のリーグ戦を、
49チーム以上の場合、並列6ブロック制のリーグ戦を行う。1回戦総当りとする。

※リーグ編成は第1回実行委員会で決定

②名称は4部A・4部B・4部C・4部D・4部E・4部Fとする。(ブロック数により変更する)

③各ブロックの1位と2位によるチャンピオンシップを行う。(ブロック数により変更する)

10 競技方法

(1) 競技規則

令和3年度(公財)日本サッカー協会競技規則による。

(2) 順位決定

勝ち点制とする。勝…3 分…1 負…0

ただし、勝ち点と同じ場合には、下記のとおり順位を決定する。

- ①得失点差
- ②総得点
- ③当該チーム間の対戦結果
- ④当該チーム間の得失点差
- ⑤当該チーム間の総得点
- ⑥抽選

(3) 試合時間

1部・2部90分、3部・4部80分とする。

飲水タイムおよびクーリングブレイクは乾球31℃以上またはWBGT28℃以上を目安として実施する。

(4) 登録

①1部・2部・3部リーグの登録人数を30名までとし、各ウインドウで登録を行う。4部リーグの登録人数を無制限とし、各ウインドウで登録する。ただし、同一選手の複数リーグを跨いだ登録はできないものとする。試合当日、登録した選手から先発選手11名と交代選手14名の最大25名をエントリーする。また、1年生については入学日以降追加登録できるものとする。(大会期間中に登録メンバーが11名を切ったチームは、その状況に応じて随時追加登録を可とするが、必ず事前に各リーグ実行委員長に連絡する。)

②交代人数は試合開始前に登録した最大14名から計5名までとし、交代の際は必ず交代用紙を使用する。

③当日の試合登録は県リーグ用メンバー用紙を使用し、原則15分前までに本部へ提出。

●プリンスリーグブロック制度について

〈プリンスリーグ東海ルール〉

◇フィールドプレイヤーは13名ブロックされ、GKは1名のみブロックされる。

◇30名登録、ウインドウ3回、ブロック選手14名(内GK1名)

◇選手決定方法(初回)→チーム申請→(2回目以降)→出場試合時間

◇ブロック外選手は、チーム直下のリーグにも出場できる。

(5) ユニフォーム

①必ず2種類用意し、持参する。(GKにおいても同じ)

②原則として、対戦表左側のチームをホーム、右側のチームをアウェイとする。

(6) 試合球

①各チームに配給されたものを持ち寄りとする。

1部: ヴァンタジオ4900(2球) 2部: ヴァンタジオ4900・ペレーダ4000 3部・4部: ペレーダ4000

(7) 審判

①主審・AR・4thの4名で、試合開始前の審判打ち合わせを必ず行う。

②1部: 主審は協会派遣審判とし、担当チームからAR・4thの3名を出すこと。

(ARフラッグはチーム持ち寄り) また、ARは審判服を着用すること。

③2部: 担当チームから主審・AR・4thの4名を出すこと。

(ARフラッグはチーム持ち寄り) また、主審・ARは審判服を着用すること。

④3部: 担当チームから主審・AR・4thの4名を出すこと。(ARフラッグはチーム持ち寄り)

また、主審・ARは審判服を着用すること。

⑤4部: 担当チームから主審・AR・4thの4名を出すこと。(ARフラッグはチーム持ち寄り)

また、ARは可能な限り審判服を着用すること。(最低限黒色のピブスは着用する)

※各リーグをまたいで審判割当を行うことがある。

(8) 選手の異動

①選手の異動はウインドウが開いた時のみ可とする。

②ウインドウを開く回数は3回とし、時期は下記の通りとする。

開幕前 ～ 4月7日(木) (1部・2部・3部のみ)

1回目 5月26日(木) ～ 6月2日(木) (4部はこの期間で開幕前登録)

2回目 8月23日(火) ～ 8月26日(金)

3回目 11月8日(火) ～ 11月11日(金) (1部・2部リーグのみ)

③選手が本リーグ期間中に異動をした場合、当該選手は異動後から次のウインドウが開くまでは異なったチームから出場することはできない。

(9)懲罰規定

☆ 警告の累積、退場処分等の懲戒適用については「(公)日本サッカー協会 発の『育成年代リーグ戦における懲罰適用の考え方について』2012.4.12(通達)」に沿うものとする。

【警告の累積について】

①警告の累積による公式試合の出場停止試合数は以下の通りとする。なお同一試合で2回の警告を受けて退場処分を受けた場合には、その2回の警告は累積に加算しない。

(1) 1チームの最大試合数が9試合以下のリーグの場合:

警告の累積が2回に及んだ選手は、当該リーグの次の1試合を出場停止処分とする。

(2) 1チームの最大試合数が10試合以上19試合以下のリーグの場合:

警告の累積が3回に及んだ選手は、当該リーグの次の1試合を出場停止処分とする。

(3) 各リーグにおいて警告の累積による出場停止を繰り返した場合には、2回目以降については2試合の出場停止処分とする。

②累積警告による出場停止処分については当該リーグのみで消化されるため、複数チームをリーグ戦にエントリーしていたとしても、累積警告を受けたリーグでのみ消化される。

※選手登録変更ウィンドウが開いて、仮に1部リーグから2部リーグへと移動した場合でも1部リーグで受けている警告および累積警告による出場停止処分は1部リーグに残ったままとし、2部リーグでは消化できない。

※累積警告については、リーグ戦と東海プリンス参入戦および県内チャンピオンシップでは切り離して考えるため、リーグ最終節時点での累積警告については、最終節終了後消滅する。

【退場による出場停止処分】

退場による出場停止処分を受けた場合はその出場停止処分を科された当該リーグ戦(チャンピオンシップ等含む)において処分を消化する。異なるレベルのリーグ戦においては出場停止処分は消化しない。但し、リーグ戦の終了時によって残存した出場停止処分については順次、次の公式戦に適用される。選手移籍ウィンドウが開いて移籍した場合は未消化の出場停止処分は移籍したリーグへ持っていく。

その後の処置については本大会規律委員会(各リーグ実行委員、副実行委員長、専門委員長、審判委員長)において決定する。

(10)試合中における中止・中断の決定

・試合中における中断の決定については、会場責任者の判断に委ねるものとする。その後の試合再開に関しては、各リーグ実行委員会が決定した規定に沿うものとする。

・試合中における中止の決定については、各リーグ実行委員長の判断に委ねるものとする。その後の処置は実行委員会において協議の上決定する。

①前半終了後に中止された場合は、その時点のスコアで試合成立とする。

②一方の責任により中止になった場合は、帰責事由のあるチームを0対3で敗戦したものとすることが

原則ではあるが、スコアに関しては実行委員会での決定できる。

・雨天決行とする。ただし、朝6:00の段階で暴風警報・暴風雪警報・特別警報・地震警戒宣言が発令されている場合、競技は中止とする。その後警報・警戒宣言が解除された場合、大会役員、引率職員および関係者と開催について協議する。

11 参加費

(受益者負担の原則の下、各リーグで調整可能。ただし、2種企画役員会の承認が必要)

1部リーグ 6万円

2部リーグ 4万円

3部リーグ 1万円

4部リーグ 1万円

12 表彰

(1)表彰式を、1部・2部リーグは最終節終了時に、3部・4部はチャンピオンシップ終了時に行う。

(2)1部・2部リーグは優勝(優勝カップ、賞状)・準優勝(賞状)のチーム、得点王を表彰する。

(3)3部・4部リーグはチャンピオンシップの結果により、優勝(優勝カップ、賞状)・準優勝(賞状)・第3位(賞状)のチームを表彰する。

13 参加申込み

所定の申込用紙にて、事務局まで申し込みを行う。

申込み締め切り 1部・2部・3部リーグ 2月22日(火) 締切

4部リーグ 4月19日(火) 締切

*複数チーム参加申請書についても同様

大会参加申込み用紙(所属長印押印)

1部・2部・3部リーグ 4月7日(木)までに各リーグ実行委員長に提出

4部リーグ 第1回4部リーグ実行委員会時に4部リーグ実行委員長に提出

高円宮杯 JFA U-18サッカーリーグ2022 三重県リーグの編成について

1 2022年度リーグ編成

【4部リーグ3並列(30チーム以下)の場合】

《2並列の3部リーグ編成方法》

- ①複数チームの関係で2部残留決定戦1位を3部Aの1段目に位置づける。
- ②2部3部入替戦勝者のうち、決定戦の敗者を3部Bの1段目に位置づける。
- ③2部3部入替戦敗者の2チームを2段目に位置づける。なお、左右いずれに位置するかは抽選とする。
- ④2部残留決定戦4位を3段目に位置づける。なお、左右いずれに位置するかは抽選とする。なお、チームが入らない方を空きとし、全チームの位置づけが終わった際、上に詰める。
- ⑤2部の7位から10位の8チームを4～7段目まで順に位置づける。なお、各順位ごとで抽選し、それぞれ左右いずれに位置するか決定する。
- ⑥3部CS3位から3部CS8位までの6チームを8～10段目に位置づける。なお、3部CS3位を7段目の左右いずれに位置するかは抽選とする。それ以外のチームはコの字型で順に位置づける。
- ⑦3部3位の4チームを11、12段目に抽選にて位置づける。
- ⑧3部4位の3チームを13、14段目に抽選にて位置づける。なお、抽選の際に、④で決定した空きの逆側に空きをつくり、チーム数が均等になるようにする。
- ⑨3部残留戦勝者を15段目に位置づける。なお、左右いずれに位置するかは抽選とする。
- ⑩空きを埋めるため、上に詰める。

《3並列の4部リーグ編成方法》

- ①複数チームの関係で4部に降格した3部4位5位の3チームを1段目の4部Aから位置づける。
- ②3部6位から9位までをコの字型で位置づける。なお、各位の4チームで抽選し、4部A・B・Cのいずれに位置づけるか抽選する。
- ③新規参入のチームを抽選で位置づける。

プレミアリーグ(三重県は該当チームなし) プリンズリーグ(三重県は該当チームなし)							
	1部	2部	3部A	3部B	4部A	4部B	4部C
1	四日市中央工業 (プリンス10位)	四日市中央工業2nd (1部6位)	四日市中央工業3rd (2部B5位)	津西 (2部3部入替決定戦の敗者)	宇治山田商業3rd (3部A4位)	伊勢工業2nd (3部A5位)	上野2nd (3部B5位)
2	津工業 (1部1位)	鈴鹿 (1部10位)	名張青峰 (2部3部入替戦敗者)	亀山 (2部3部入替戦敗者)	津東 (3部C6位)	津田学園 (3部B6位)	桑名西2nd (3部A6位)
3	海星 (1部2位)	四日市工業2nd (2部CS2位)	上野 (2部B6位)	宇治山田商業2nd (2部B7位)	津西2nd (3部D6位)	四日市四郷2nd (3部A7位)	木本 (3部B7位)
4	三重 (1部3位)	海星2nd (2部CS3位)	伊勢工業 (2部A7位)	川越 (2部A8位)	白山 (3部A8位)	桑名工業 (3部D7位)	石薬師 (3部C7位)
5	宇治山田商業 (1部4位)	三重2nd (2部CS4位)	桑名西 (2部B8位)	名張 (2部A9位)	久居 (3部B8位)	皇學館 (3部C8位)	松阪 (3部D8位)
6	四日市工業 (1部5位)	稲生 (2部A3位)	暁 (2部B9位)	鈴鹿2nd (2部B10位)	伊勢学園 (3部D9位)	桑名北 (3部B9位)	志摩 (3部A9位)
7	近大高専 (1部7位)	久居農林 (2部B3位)	津 (2部A10位)	宇治山田 (3部CS4位)	(新規参入)	(新規参入)	(新規参入)
8	伊賀白鳳 (1部8位)	津工業2nd (2部A4位)	海星3rd (3部CS3位)	三重3rd (3部CS5位)	(新規参入)	(新規参入)	(新規参入)
9	四日市四郷 (1部9位)	四日市南 (2部B4位)	神戸 (3部CS6位)	近大高専2nd (3部CS8位)	(新規参入)	(新規参入)	(新規参入)
10	いなべ総合学園 (2部CS1位)	白子 (2部3部入替決定戦の勝者)	松阪工業 (3部CS7位)	津工業3rd (3部C3位)	(新規参入)	(新規参入)	(新規参入)
11	\		四日市工業3rd (3部A3位)	稲生2nd (3部B3位)	\		
12			伊勢 (3部D3位)	四日市西 (3部B4位)			
13			いなべ総合学園2nd (3部C4位)	高田 (3部D4位)			
14			桑名 (3部D5位)	相可 (3部C5位)			

※4部リーグで不参加チームが出た場合は、順次詰めていく。

【4部リーグ4並列(31チーム以上48チーム以下)の場合】

≪2並列の3部リーグ編成方法≫

- ①複数チームの関係で2部残留決定戦1位を3部Aの1段目に位置づける。
- ②2部3部入替戦勝者のうち、決定戦の敗者を3部Bの1段目に位置づける。
- ③2部3部入替戦敗者の2チームを2段目に位置づける。なお、左右いずれに位置するかは抽選とする。
- ④2部残留決定戦4位を3段目に位置づける。なお、左右いずれに位置するかは抽選とする。なお、チームが入らない方を空きとし、全チームの位置づけが終わった際、上に詰める。
- ⑤2部の7位から10位の8チームを4～7段目まで順に位置づける。なお、各順位ごとで抽選し、それぞれ左右いずれに位置するか決定する。
- ⑥3部CS3位から3部CS8位までの6チームを8～10段目に位置づける。なお、3部CS3位を7段目の左右いずれに位置するかは抽選とする。それ以外のチームはコの字型で順に位置づける。
- ⑦3部3位の4チームを11、12段目に抽選にて位置づける。
- ⑧3部4位の3チームを13、14段目に抽選にて位置づける。なお、抽選の際に、④で決定した空きの逆側に空きをつくり、チーム数が均等になるようにする。
- ⑨3部残留戦勝者を15段目に位置づける。なお、左右いずれに位置するかは抽選とする。
- ⑩空きを埋めるため、上に詰める。

≪4並列の4部リーグ編成方法≫

- ①複数チームの関係で4部に降格した3部4位5位の3チームを1段目の4部Aから位置づける。
- ②3部6位から9位までをコの字型で位置づける。なお、各位の4チームで抽選し、4部A・B・C・Dのいずれに位置づけるか抽選する。
- ③新規参入のチームを抽選で位置づける。

プレミアリーグ(三重県は該当チームなし) プリンスリーグ(三重県は該当チームなし)									
	1部	2部	3部A	3部B	4部A	4部B	4部C	4部D	
1	四日市中央工業 (プリンス10位)	四日市中央工業2nd (1部6位)	四日市中央工業3rd (2部B5位)	津西 (2部3部入替決定戦の敗者)	宇治山田商業3rd (3部A4位)	伊勢工業2nd (3部A5位)	上野2nd (3部B5位)	桑名西2nd (3部A6位)	
2	津工業 (1部1位)	鈴鹿 (1部10位)	名張青峰 (2部3部入替戦敗者)	亀山 (2部3部入替戦敗者)	四日市四郷2nd (3部A7位)	津西2nd (3部D6位)	津東 (3部C6位)	津田学園 (3部B6位)	
3	海星 (1部2位)	四日市工業2nd (2部CS2位)	上野 (2部B6位)	宇治山田商業2nd (2部B7位)	木本 (3部B7位)	石薬師 (3部C7位)	桑名工業 (3部D7位)	白山 (3部A8位)	
4	三重 (1部3位)	海星2nd (2部CS3位)	伊勢工業 (2部A7位)	川越 (2部A8位)	志摩 (3部A9位)	松阪 (3部D8位)	皇學館 (3部C8位)	久居 (3部B8位)	
5	宇治山田商業 (1部4位)	三重2nd (2部CS4位)	桑名西 (2部B8位)	名張 (2部A9位)	桑名北 (3部B9位)	伊勢学園 (3部D9位)	(新規参入)	(新規参入)	
6	四日市工業 (1部5位)	稲生 (2部A3位)	暁 (2部B9位)	鈴鹿2nd (2部B10位)	(新規参入)	(新規参入)	(新規参入)	(新規参入)	
7	近大高専 (1部7位)	久居農林 (2部B3位)	津 (2部A10位)	宇治山田 (3部CS4位)	(新規参入)	(新規参入)	(新規参入)	(新規参入)	
8	伊賀白鳳 (1部8位)	津工業2nd (2部A4位)	海星3rd (3部CS3位)	三重3rd (3部CS5位)	(新規参入)	(新規参入)	(新規参入)	(新規参入)	
9	四日市四郷 (1部9位)	四日市南 (2部B4位)	神戸 (3部CS6位)	近大高専2nd (3部CS8位)	(新規参入)	(新規参入)	(新規参入)	(新規参入)	
10	いなべ総合学園 (2部CS1位)	白子 (2部3部入替決定戦の勝者)	松阪工業 (3部CS7位)	津工業3rd (3部C3位)	(新規参入)	(新規参入)	(新規参入)	(新規参入)	
11	△		四日市工業3rd (3部A3位)	稲生2nd (3部B3位)	(新規参入)	(新規参入)	(新規参入)	(新規参入)	
12			伊勢 (3部D3位)	四日市西 (3部B4位)	(新規参入)	(新規参入)	(新規参入)	(新規参入)	
13			いなべ総合学園2nd (3部C4位)	高田 (3部D4位)	△				
14			桑名 (3部D5位)	相可 (3部C5位)					

※4部リーグで不参加チームが出た場合は、順次詰めていく。

2 チャンピオンシップ及び入替戦

(試合時間) 1部2部入替戦は90分とし、3部CS、3部残留戦、4部CSは80分とする。
(試合方式) 決しない場合は、PK戦を行う。

[1] 1部リーグと2部リーグとの入替え方法

1部リーグからの降格は、原則、下位2チームとする。

2部リーグからの昇格は、原則、上位2チームとし、入替戦を行わず自動昇格とする。ただし、複数チームが同居できないという条件から上位2チームの一方または両方に昇格権がない場合は、2部4位のチームまで昇格権を与える。その際、2部3位は自動昇格とし、2部4位は1部リーグの下位チームと入替戦を行う。

【入替戦】の例

- ① 2部の3位までに1チーム昇格し2部4位に昇格権が回った場合
1部の9位 vs 2部の4位 → 勝者は次年度1部、敗者は次年度2部となる
- ② 2部の3位までの3チームに昇格権がなく、2部4位に昇格権が回った場合
1部の9位は1部へ残留
1部の10位 vs 2部の4位 → 勝者は次年度1部、敗者は次年度2部となる

[2] 2部リーグと3部リーグとの入替え方法

2部リーグからの降格は、原則、下位2チームとする。

3部リーグからの昇格は、3部チャンピオンシップにより決定した上位2チームとし、入替戦を行わず自動昇格とする。ただし、複数チームが同居できないという条件から上位2チームの一方または両方に昇格権がない場合は、3部チャンピオンシップで決定したCS3位、CS4位、3部A・Bの3位までのチームに順次昇格権を与え、入替戦を行わず自動昇格とする。

【3部チャンピオンシップ】

3部A・Bの上位2チームの計4チームによるチャンピオンシップを行う。

- ① 3部Aの1位 vs 3部Bの1位 → 勝者は3部優勝、敗者はマッチ③を行う
 - ② 3部Aの2位 vs 3部Bの2位 → 勝者はマッチ③、敗者は3部4位となる
 - ③ ①の敗者 vs ②の勝者 → 勝者は準優勝、敗者は3部3位となる
- ※上記の結果により決定した1位～4位の順位に従い、昇格権を与える。

[3] 3部リーグと4部リーグとの入替え方法

3部リーグからの降格は、原則、3部A・Bの12位～14位の計6チームとする。ただし、4部リーグから昇格するチームが6チームに満たない場合、チーム数により各順位による3部残留戦を行い、勝者を3部残留とする。

4部リーグからの昇格は、4部チャンピオンシップにより決定した上位6チームとし、入替戦を行わず自動昇格とする。ただし、複数チームが同居できないという条件から上位6チームに昇格権がない場合は、3部チャンピオンシップで決定したCS7位、CS8位、4部3位、4部4位のチームに順次昇格権を与える。CS7位、CS8位、4部3位までは入替戦を行わず自動昇格とし、4部4位は3部リーグの下位チームと入替戦を行う。

【4部チャンピオンシップ(3並列の場合)】

4部1位リーグで1～3位を決定する。

《4部1位リーグ》

- ① 4部○の1位 vs 4部△の1位
- ② 4部○の1位 vs 4部□の1位
- ③ 4部△の1位 vs 4部□の1位

【4部チャンピオンシップ(4並列の場合)】

- ① 4部○の1位 vs 4部△の1位 → 勝者はマッチ⑤、敗者はマッチ⑥を行う
- ② 4部□の1位 vs 4部×の1位 → 勝者はマッチ⑤、敗者はマッチ⑦を行う
- ③ 4部○の2位 vs 4部△の2位 → 勝者はマッチ⑦、敗者はマッチ⑧を行う
- ④ 4部□の2位 vs 4部×の2位 → 勝者はマッチ⑥、敗者はマッチ⑧を行う
- ⑤ ①の勝者 vs ②の勝者 → 勝者は4部優勝、敗者は4部準優勝となる
- ⑥ ①の敗者 vs ④の勝者 → 勝者はマッチ⑨、敗者はマッチ⑩を行う
- ⑦ ②の敗者 vs ③の勝者 → 勝者はマッチ⑨、敗者はマッチ⑩を行う
- ⑧ ③の敗者 vs ④の敗者 → 勝者は4部7位、敗者は4部8位となる
- ⑨ ⑥の勝者 vs ⑦の勝者 → 勝者は4部3位、敗者は4部4位となる
- ⑩ ⑥の敗者 vs ⑦の敗者 → 勝者は4部5位、敗者は4部6位となる

[複数(2nd・3rd・4th)チームの昇降格について]

2nd・3rd・4thチームは、1stまたは2ndまたは3rdチームの直下まで昇格できる。1stや2nd、3rdチームが降格した場合は2ndや3rd、4thチームは成績に関わらず降格する。複数チームの同居は認めず、4部リーグで同居になる場合は下位にあたるチームが消滅することとする。

3 2023年度リーグ編成について

- (1)1部リーグは10チームとする。
 - (2)2部リーグは10チームとする。
 - (3)3部リーグは14チームの2ブロックとする。
 - (4)4部リーグは30チーム以下の場合には並列3ブロックとなり、31チーム以上48チーム以下の場合には並列4ブロックとなり、49チーム以上の場合には並列6ブロックとなる。
 - (5)1部リーグからは原則、下位2チームが降格する。
 - (6)2部リーグからは原則、2チームが1部リーグに自動昇格する。ただし、複数チームが同居しないという条件により上位2チームの一方または両方に昇格権がない場合は、2部リーグ4位まで昇格権を与える。その際、2部3位は自動昇格とし、2部4位は1部リーグの下位チームと入替戦を行う。
 - (7)プリンスリーグからの降格と1部リーグ1位2位の残留が重なったことにより、10チームを超える場合は1部リーグ8位のチームが降格する。
 - (8)複数チームが同居しないという条件により2部リーグから昇格するチームが1または、ない場合は1部リーグ9位または10位のチームが順に残留する。
 - (9)(5)～(8)でプリンスリーグ昇格や複数チームが同居しないという条件、もしくは、想定されていない事態が起きて1部リーグが10チームを満たさない場合、2部リーグ5位以降のチームを順に昇格する。
 - (10)2部リーグからは原則、下位2チームが降格する。
 - (11)3部リーグからはチャンピオンシップにより原則、上位2チームが2部リーグに自動昇格する。ただし、複数チームが同居しないという条件により上位2チームの一方または両方に昇格権がない場合は、3部チャンピオンシップで決定したCS3位、CS4位、3部A・Bの3位までのチームに順次昇格権を与え、入替戦を行わず自動昇格とする。3部A・Bの3位の2チームに対してひとつの昇格権が与えられた場合、昇格権決定戦を行う。
 - (12)複数チームは同居しないという条件により3部リーグから昇格するチームが1または、ない場合は2部リーグ9位または10位のチームが順に残留する。
 - (13)(10)～(12)でプリンスリーグ昇格や複数チームが同居しないという条件、もしくは、想定されていない事態が起きて2部リーグが10チームを満たさない場合、3部リーグ4位以降のチームを順に昇格とする。その際、必要に応じて昇格権決定戦を行う。
 - (14)3部リーグからは原則、下位6チーム(3部A、3部Bの12位～14位)が降格する。
 - (15)4部リーグからはチャンピオンシップにより原則、6チームが3部リーグに自動昇格する。ただし、複数チームが同居しないという条件から上位6チームに昇格権がない場合は、4部チャンピオンシップで決定したCS7位、CS8位、4部3位、4部4位のチームに順次昇格権を与える。CS7位、CS8位、4部3位までは入替戦を行わず自動昇格とする。なお、4部3位のチームに昇格権が与えられる場合、必要に応じて昇格権決定戦を行う。4部4位のチームに昇格権が与えられる場合、必要に応じて昇格権決定戦を行い、上位のチームから3部リーグの下位チームと入替戦を行う。
 - (16)複数チームは同居しないという条件により4部リーグから昇格するチームが6チーム未満の場合は3部リーグ12位以降のチームが順に残留する。その際、必要に応じて3部残留戦を行う。
 - (17)(14)～(16)でプリンスリーグ昇格や複数チームが同居しないという条件、もしくは、想定されていない事態が起きて3部リーグが28チームを満たさない場合、4部リーグ5位以降のチームを順に昇格とする。その際、必要に応じて昇格権決定戦を行う。
 - (18)想定されていない事態が起きて各リーグの定数を満たさなくなってしまった場合、下位リーグの上位チームから昇格させることで定数を満たすこととする。
- ※実際のリーグ編成については各実行委員長と共通理解を図りながら決定する。